



## KYC業務の 効果と効率を改善

### メリット

- 単一の標準化された情報ソースを提供
- 他にはない付加価値の高い情報 (SWIFT Profile) を提供
- 既存データのアクセスを完全制御
- 確認済みの最新の情報を提供
- 業界全体での蓄積・運用労力とコストを削減

## SWIFT KYC Registry

新しいグローバルツールによりKYC業務の  
管理が簡易化されます。

金融機関にとって法令順守は避けては通れない課題であり、複数の新しい規制要件がコルレス銀行取引業務に多大な影響を与えています。とりわけ重要なポイントは、金融機関が取引開始前に実施すべき顧客デューデリジェンスであるKnow Your Customer (KYC=顧客確認)の対応です。SWIFTはこの対応を支援するために、ユーザー向けにグローバルKYC Registryを開発しています。

現在、単一の情報ソースに基づいて最新かつ確認済みのKYC情報を標準化された手続きで入手することが出来ないため、大量の文書のやり取りが発生しており、業界全体で大幅な作業とコストの重複が生じています。実際に、SWIFTネットワーク上でコルレス銀行取引を行っている7,000の銀行は合計で100万以上の取引関係を有しているため、100万件以上の文書の受け渡しが発生していることとなります。

KYC関連の作業とコストを削減するために、SWIFTはコルレス銀行取引向けのグローバルKYC Registryを開発中です。KYC Registryにより、ユーザーは標準化された効率的な手法で規制要件に対応できるようになります。

会員制協同組合として、SWIFTは金融業界の課題に対し標準化された協力的なソリューションを開発することに長い間尽力してきました。

SWIFTはコルレス銀行取引の大半を担う安全なグローバルネットワークであり、このような問題への対応における支援に適したパートナーと言えます。

KYC Registryでは、単一のKYC情報ソースを提供する以外にも、ユーザー独自の「SWIFT Profile」を作成し、それをユーザーが指定したカウンターパーティと共有するオプションも提供しています。SWIFT Profileは各金融機関のSWIFTネットワーク上のトラフィックを定型の概要図で提示し、KYCリスク評価に活用できる実データを提供するものです。

KYC Registryは2014年末にリリース予定です。KYC Registryへの登録は任意で、金融機関によるKYCプロセス全体を通じてSWIFTは中立的な立場で情報を提供します。

### KYC情報の提供、取得、交換

KYC Registryには三つの主要機能があります。まず、コルレス銀行はSWIFTにKYC情報を提供することで、コルレスの相手方別に文書のやり取りをする必要がなくなります。2つ目に、金融機関が最新のKYC情報を取得できる単一の中央レポジトリを提供します。3つ目に、各金融機関の担当チームが所在地に関係なく同一の標準化されたデータを取得できるようになるため、KYC業務の効率性と透明性が改善されます。SWIFTは提出文書の網羅性と正確性を確認し、重要事項については有効性を検証しますが、各ユーザー銀行の情報に対する所有権と責任は各行に残されます。

SWIFTは、KYC Registryを運営し

SWIFT独自の厳格なセキュリティとデータ保護規則に基づきデータを管理します。SWIFTがKYC Registryにアクセスするのは、登録時のみであり、コルレスの相手方へのデータの提供するかについては完全に各行での管理となります。KYC Registryのデータは、ヨーロッパで保管されます。

“SWIFTのKYC Registryを使うことで、KYC法令順守に関するコスト、労力、リスクを削減できます”

### SWIFT Profileの作成

KYC Registryに登録すると、SWIFTに依頼して自行のSWIFTトラフィックデータから独自のSWIFT Profileを作成することができます。このオプションのレポートを作成することで、SWIFTネットワークでのコルレス相手方による他のコルレス相手方との取引活動の透明性も高まります。

SWIFT Profileは制裁、マネーロンダリング、汚職、テロ資金供与においてリスクがあると国際的に見なされている地域において、銀行とコルレス相手方との間に疑わしい取引関係がないかなど、既定のコンプライアンス項目を確認します。

SWIFT Profileの標準化された情報により、銀行は申告した業務を裏付ける客観的な証拠の提示が可能となります。また、カウンターパーティのSWIFT Profileの分析により、そのカウンターパーティのコルレス銀行取引ネットワークも確認でき、間接リスクの見積り精度が向上します。

SWIFT Profileを利用するには、KYC

Registryへの登録が必要です。SWIFT Profileの作成は任意であり、KYC

Registryユーザーからの要求があった場合にのみ作成され、コルレス相手方と共有されます。

SWIFT Profileでは評価自体は行われず、分析対象の取引金額や取引量に関する情報も開示されません。SWIFT Profileの共有は、ユーザーが他行に自行のSWIFT Profile参照を許可した場合にのみ実行されます。SWIFT Profileの共有に際して、SWIFTの作業はKYC Registryユーザーの指示に従ってのみ行われます。

### KYC Registryの対象範囲

当局による金融犯罪コンプライアンス規制の発動は、一握りの地域のみを対象とする場合が多いですが、地域内、あるいは地域と取引を行うすべての金融機関に影響を及ぼします。SWIFTは世界各地のグローバル金融機関や地方銀行などと協力してKYC Registryの標準的なアプローチを構築しています。

KYC Registryには、顧客や最終受益者の身元確認、コンプライアンスおよび税務情報に関する文書の確認が含まれます。他にも会社設立や登記事項の証明書、銀行の認可証明書、規制に関する証明書、所有権の申告書、ウォルフスバーグ声明に準じるAML質問状への回答などの文書も含めることができます。

SWIFTは、業界の各機関と協力し必要なKYC情報や各機関が開示できる情報に対する異なる規制要件を考慮しつつ、関連する書類リストの完成に向けた取り組みを進めています。

SWIFTは、デューデリジェンス、スクリーニング、リスクのスコア付与、特定の相手との取引停止の提言など、評価を伴う業務には関与しません。上記業務は、KYC Registryを利用する金融機関の責任範囲となります。

最初の段階でKYC Registryは、コルレス銀行取引のKYC情報に対象範囲を絞るため、コルレス銀行取引を行う機関のみがKYC情報を提供できます。しかし、KYC Registry内の情報にはすべてのSWIFTユーザーがアクセスできます。一方、SWIFTを利用していない機関はKYC Registryにアクセスできません。

### 最新の情報

SWIFTのKYC Registryを用いることで、ユーザーのKYCコンプライアンス関連コスト、労力、リスクが軽減されます。顧客デューデリジェンスの定期的な実施に際して高水準の質が確保されるよう、SWIFTは文書の有効期限が過ぎた場合に銀行に通知し、定期的に(毎年)情報が検証されるように支援します。

KYC Registryには、アラート機能もあり、特定の金融機関のKYC情報の参照が許可された銀行に対して、その機関のデータが更新された場合にその旨を通知します。

### すぐに準備の開始を

SWIFT KYC Registryを活用することで、KYC関連の業務の負担が減ります。KYC Registryはまだリリースされていませんが、導入に向けてご準備頂けます。

— 貴行のKYCデータを管理し、カウンターパーティに提供する担当者を決めます。今後、この担当者がKYCデータをSWIFTに提供することとなります。

— カウンターパーティのKYCデータ収集・管理をする担当者を決めます。将来的にはKYC

Registryで当情報を取得する担当者となります。

— 貴行のKYCに関するベストプラクティスを確認し、今後単一の安全なKYC情報ソースの保有を反映した形に修正していきます。

### SWIFTについて

SWIFTは、会員制協同組合であり、金融業界における迅速で確実かつ信頼性の高い業務遂行を支援しています。安全な金融メッセージング・サービスを世界に提供する機関として、212カ国を超える国の1万以上の金融機関や企業から日々何百万件もの標準金融メッセージの交信業務を請け負っています。

金融機関がまだまだかつてないほど法令順守の圧力に直面している現在、SWIFTは金融犯罪コンプライアンスを主要な戦略的施策として掲げています。SWIFTは金融業界と専門家やパートナーとの協働を通じて40年間にわたる安全性、信頼性および優れた業務の実績を活用し、SWIFTコミュニティとの緊密な協力体制のもとでコンプライアンス・サービスを開発していく所存です。

詳細についてはSWIFTの担当マネージャーにご連絡いただくか、

[www.swift.com/](http://www.swift.com/)をご参照ください